

片翼の アンチー



DOJIN
R18
成人向け

清らかな
約束を
したので

私だって
先生のことが
好きです……!

しかし……

なら……私は
待つよ

君が卒業する
その時まで

学園へ与える影響を
恐れた私達は
ひとまず私の卒業まで
関係を通じることと
決めたのです

あの……先生

私の……
羽の手入れを
頂けませんか……?

それはつまり——
卒業すれば先生が
私の恋人に……?

ああ!
何という
ことでしょう!

上手くできない
かもしれないけど
私なんかが
いいのかな……?

せ……先生だから
してほしいんです!

そのことを思うと
ただ待つだけの時間すら
甘美に感じます

幸せな時間——

永遠にこの時が
続けばいいのに……

けれど——

な……先生!
それは……
ですか?!

抜けた
スズミの羽根が
綺麗だったから

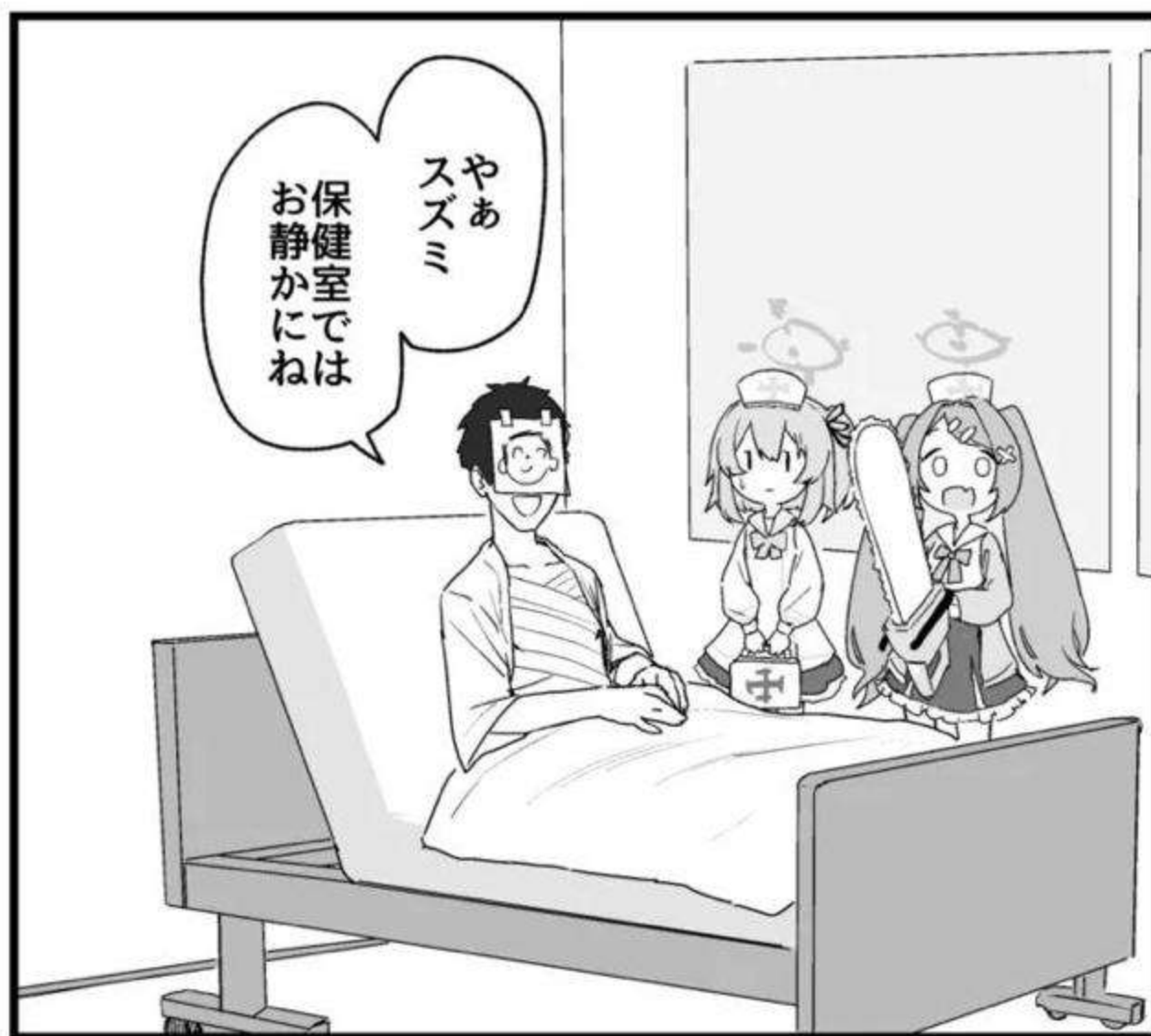
ただ卒業を
待っている……

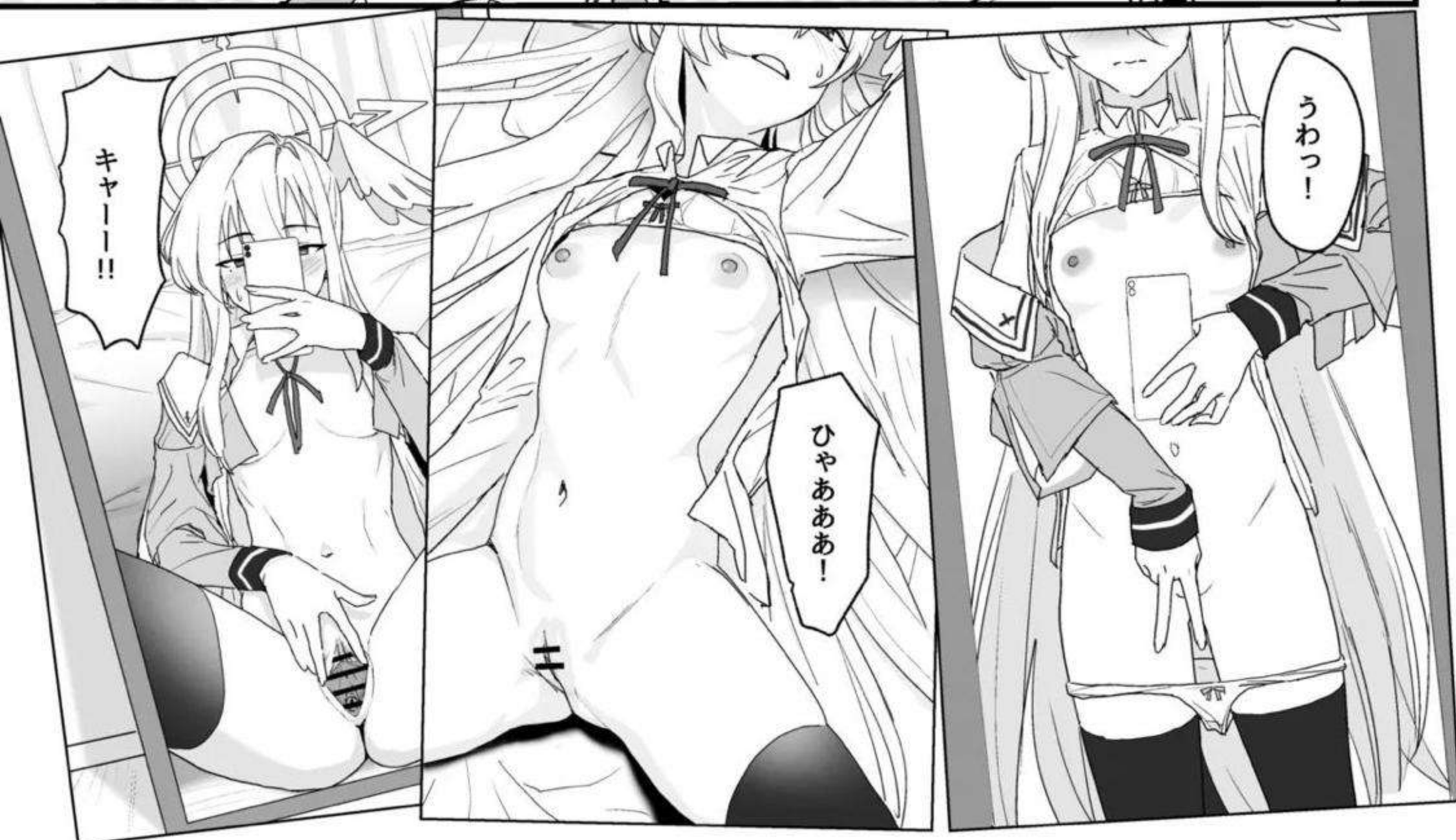
そ……それっ!
絶対に他の生徒に
見られぬように
してくださいますね!

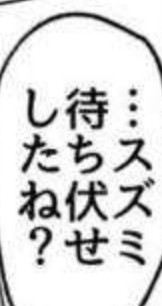
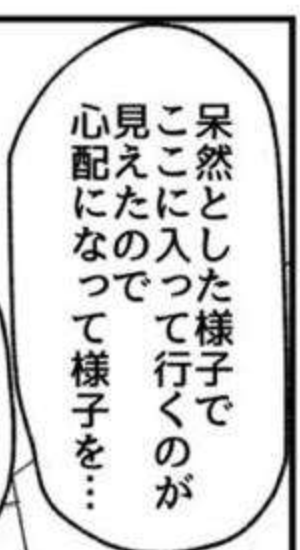
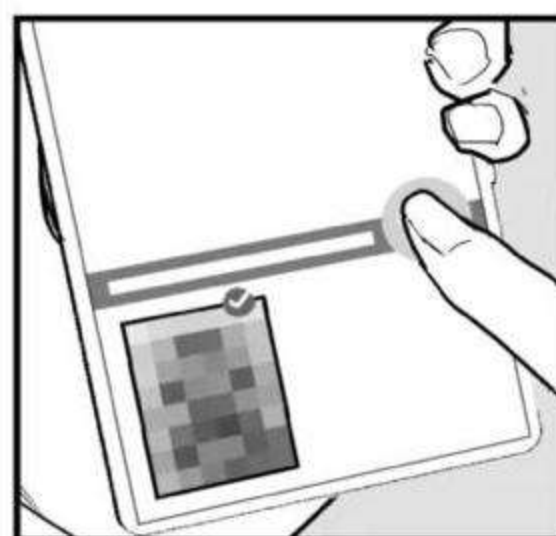
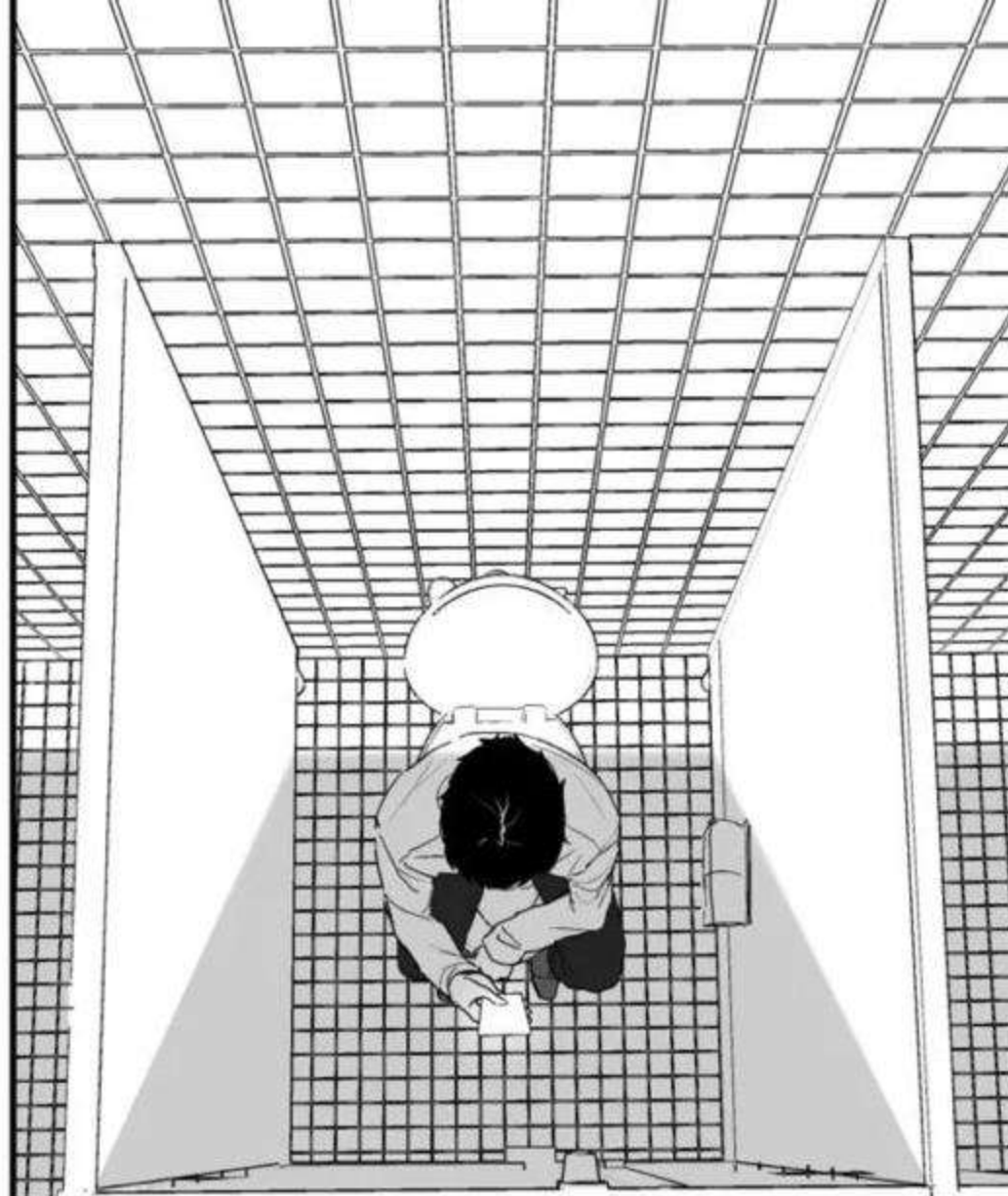
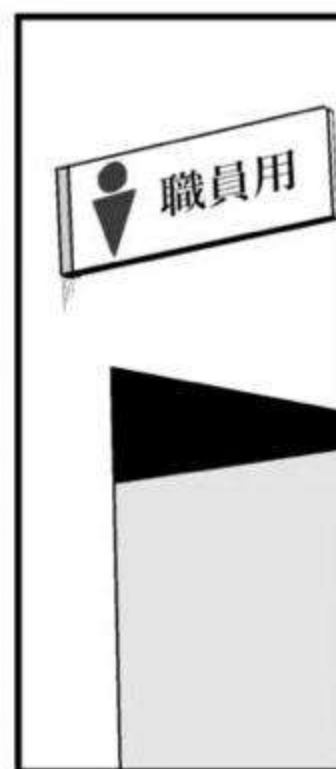
カアアア

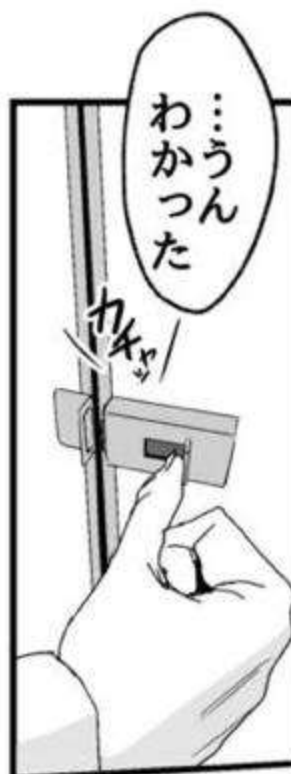
今行動しない者に
未来など望むべくも
ないのです

特にこの
キヴォトス
という場所では











最近私も
…ん♡

先生のことを想って
自分を慰めるように
なりました



わかります
気が散る状況では
難しいですよ

しかし
安全は
確保して
あります

入口に
清掃の札を立てて
おきました
定番の手ですわ

それでも
大丈夫か…?

清掃中
ご迷惑おかけします
足元注意



さ…先生

続きを
なさってくれて
構いませんよ

それは
無茶だよ!!

もい、



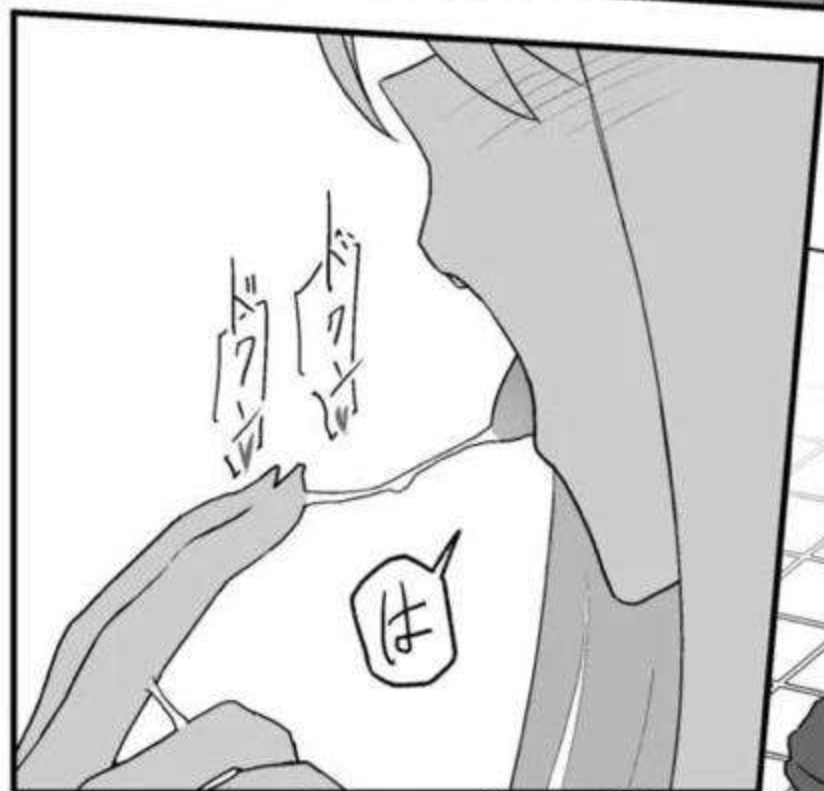
…やはり先生には
私のエスコートが
必要みたいですわ

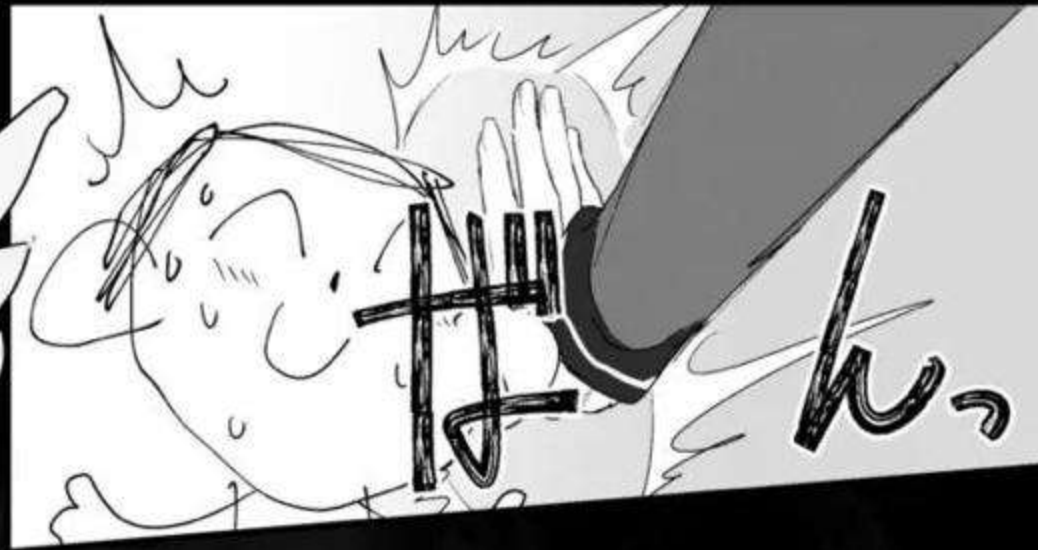
ぬぎ、

…ッ!!









先生♡

ごめんナさい

私...もうっ

がまん...
むり...で...す♡









だけど...っは♡
せんせ...っは♡
わたしとの
約束
まもろうと
するから...っ

はちゅ

中...っ
キツイ...っ

はちゅ

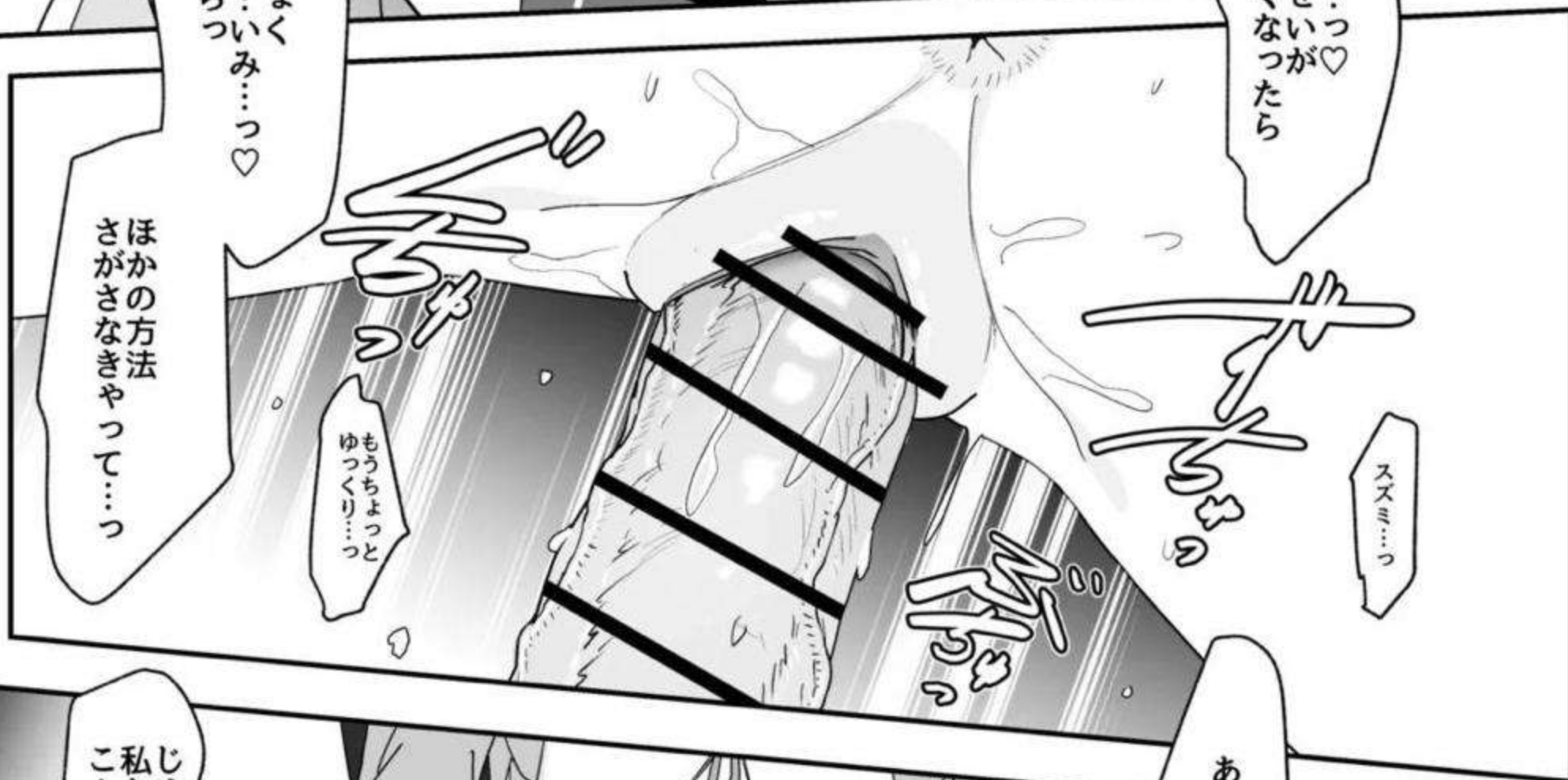
もう
こうするしか
なくって...っ♡

絞られ...っ



でも...っ♡
せんせいが♡
いなくなつたら

けつきよく
ないから...っ♡



はちゅ

もうちよつと
ゆっくり...っ

ほかの方法
さがさなきゃ...っ

スズミ...っ



あれ...?

ダメだ...ッ

スズミ...っ

じゃ...っ
私なんて
こんなこと...



ごめんなさい

先生が死ぬかもと
思うと自分でも
優先順位が
分からなくなつて…
やつと思いが
通じ合つたのに
失いたくなくて…
私…許されない
ことを…
守るべき人を
自分で襲うなんて…
興奮で脳が
焼き切れるかと
思った…正直
い。

違う
いいんだ
スズミ

私こそ
ごめんスズミ
弱くて
意気地のない
私が悪いんだ
先生…好きです
愛しています

その後――
結局私達は
周囲に隠して
交際することに
合意し恋人同
士となつた
無駄な
遠回りだっ
たかもしれない
が
これが私達
の速度なのだ



職員用トイレでの一件から
しばらく経った

時々からかうように
あの時の話をすると
とてもばつの悪そうな
顔をする

尾は引いていない
ようだが「スズミの不安が
消えて無くなった
わけでは無い

今はスズミの
パトリオリズムの
もといエスゴートに
付き添いながらの
突発的な悪意への
対処法について
議論を交わしている
(この点に関してスズミは
私以上の専門家だ)

不安を完全に取り除く
ことはできないが
小さな積み重ねが
大事なのだ

先生ってちよつと
意地悪なところ
ありますか…?

シッテムの箱のおかげで
銃弾や爆発で私がないが
負傷することはないが

キウオトスで私が
安全に仕事できるのは
この2人のおかげなんだ

はじめまして
スズミさん!

本格的な大人の悪意に
対してそれだけでは
十分な備えとは言えないのが
正直なところだ

君ら最近
2人でいるとこ
よく見んねえ

まさか
付き合ってるのオ?

パイセン!
生徒と先生の恋愛は
犯罪じゃないっス!

バアカ
法律と職業倫理は
別問題だろ
ギヤハハハ!!

ヤダヤダ
皆さんあれが
グルーミングって
やつですよ!

あそこまではする
必要なかったんじや

キウオトスでは
侮辱は立派な
犯罪行為です

とにかく
スズミとの
新生活は私との
新しい視点と
与えてくれる
と



せんせつ♡
何…ですつ♡
これ…つ♡
きもちいですつ♡

カタイ先っぽが
おなかの裏側
ごしごし
引っ掻いて…つ♡

すごいつ♡
せんせつ…♡

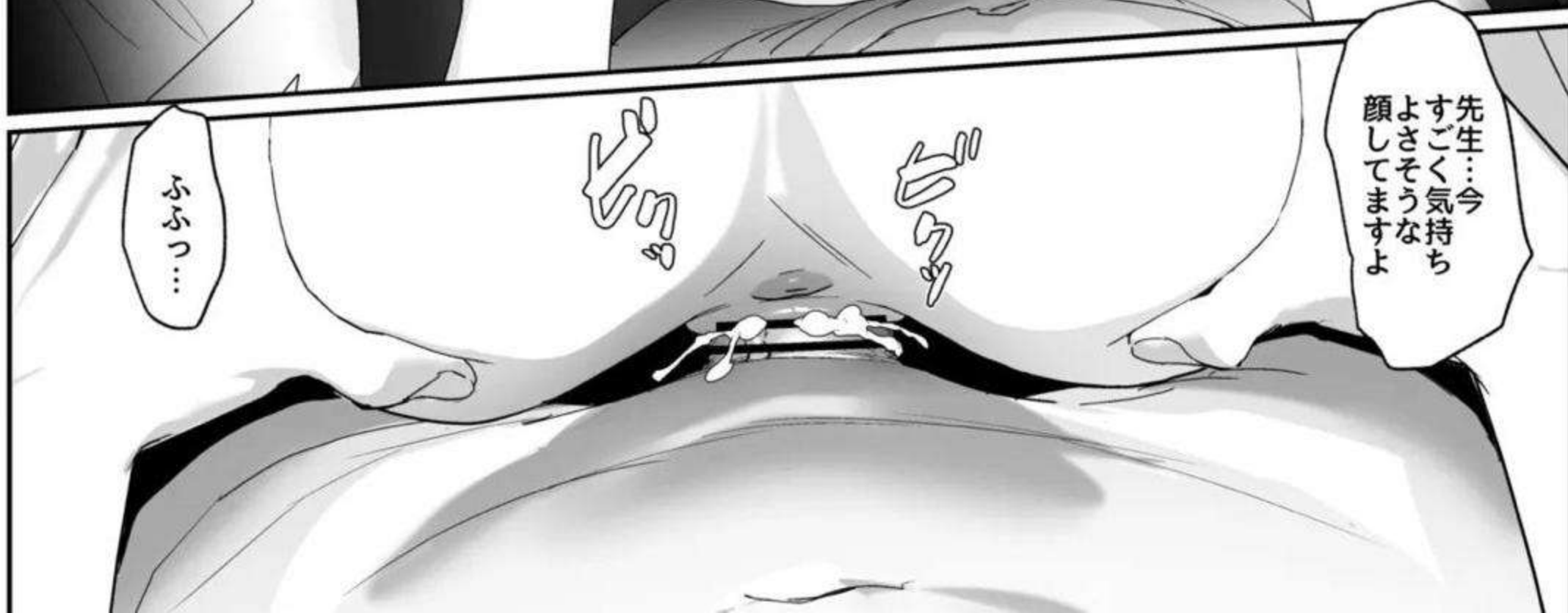
先生の…つ♡
おとなのセックス
すごいです…つ♡



ん♡
ふ♡

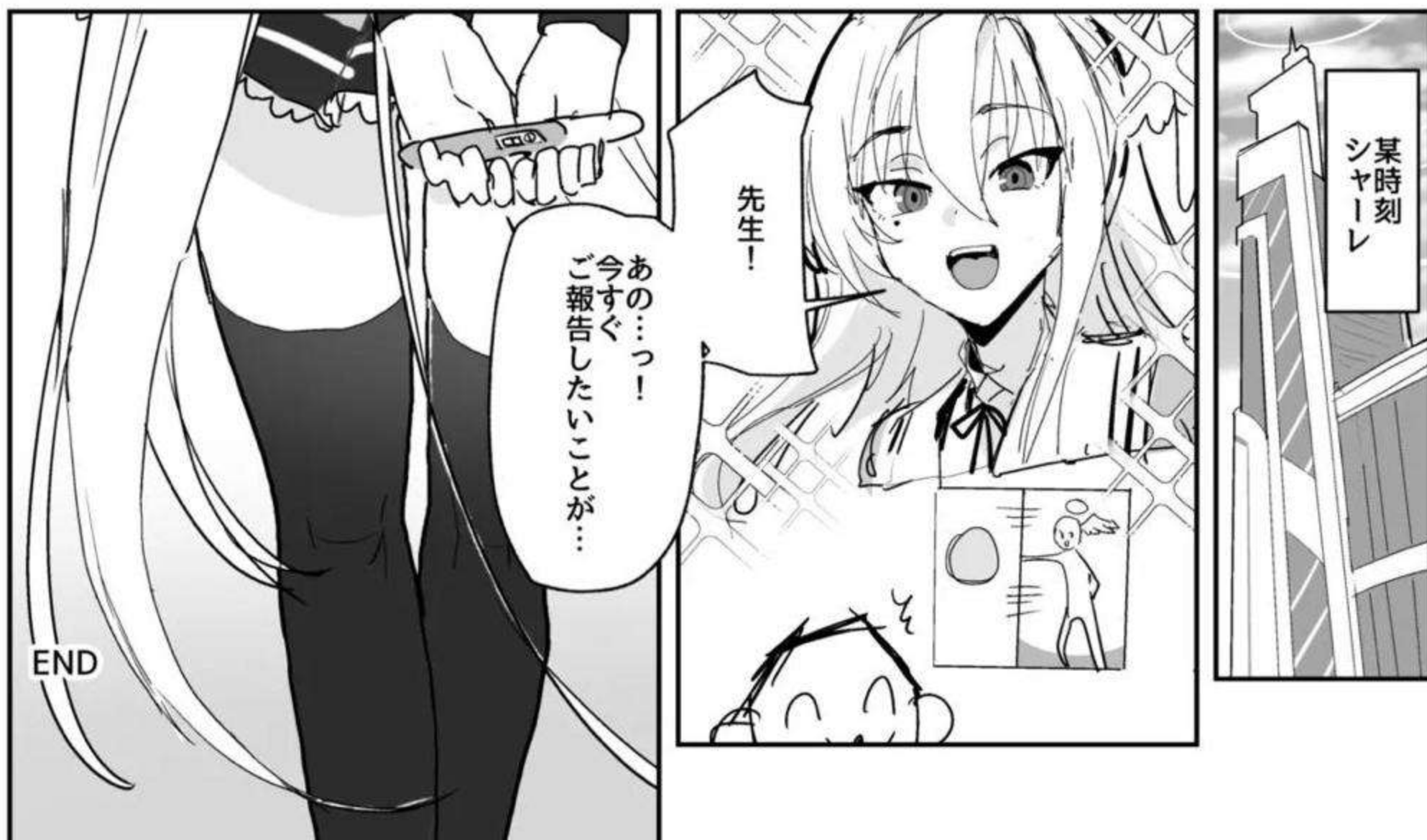
先生とキスしながら
ゆっくり抜き挿し
されるの…きもち…いい
脳が…とろける…♡

ああ…私
もうこれがないと
生きていけないかも
しれません…♡









おくづけ

【作画中独りごとメモ】

- ・この男また低レアの女描いてる。
 - ・乙女の心を奪うだけ奪っという手も出さない大人はズキ犯されて当然なんですよ。
 - ・凌辱か純愛か悩んで純愛本になりました。初体験がトイレという部分だけ残りました。なんで？
 - ・真面目な美少女が独りで抱え込んでこじらせた性欲。
 - ・この男子トイレは、ほぼ先生しか利用しないのに業者の清掃が入るので俺の部屋より清潔です。
 - ・いつか優美な線が引けるようになるなどというナイーブな考えを捨てろ。
 - ・はい。校長先生の話しが終わるまで……挿入シーンまで10ページかかりました。
 - ・私は処女厨(死語)ではありませんが、処女についてはアレです。
- あるとちょっと嬉しいかもって思ってるだけです。本当ですってば。
…だから処女膜破るシーンは毎回入れていい？私は密かに腰の炎を燃やします。
・あっ…泣きぼくろを描き忘れた箇所は数えなくていいです…

【あとがき】

ということで、トリニティの走る閃光弾、守月スズミのえっち本でした。
恋人ってホントはなってからが大変ですよ。私は居たことないのでわかりませんが。
しかし…なんだ…この…なんというか、ドロツとしたスズミは…違う私はそんなつもりじゃ…。
トリニティでも屈指の善人で、人に感謝されずとも世のため人のため
小さな正義をコツコツ積み重ねる、そんなスズミが好きなはずなんだ…。

ところでスズミさんって、先生の護衛…もといエスコートの事となると
はた迷惑な閃光弾投げまくりガールになりますよね。(かわいいですよ)
意外と恋(?)とかですぐ視野狭窄になっちゃう子なのかもしれないですね。
何かそういうことです。しらんけど。(拡大解釈が過ぎませんか?)

片翼のアンチノミー

発行日:2025/08/16

発行者:赫白きいろ(ヨリドリミドリ)

連絡先:akasirokiiroaomidori@gmail.com

X(旧twitter):赫白きいろ@akasirokiiroao

印刷所:みかんの樹様

R-18

スピード